

授業科目名	公衆衛生看護Ⅰ			担当教員	金森 弓枝、田邊 綾子 乗越 千枝
開講年次	3年後期	セメスター	6	時間数(単位数)	30 (2)
必修選択	選択	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	地域で生活を営む対象（個人・家族・集団・地域）の健康に影響を及ぼす要因を理解し、地域特性と健康課題をアセスメントする方法を学習する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の健康課題を明確化するための方法やプロセスが理解できる 2. 地域特性を把握するために必要な既存資料を収集することができる。 3. 既存資料や住民インタビューの結果を分析・統合して地域特性を把握することができる。 				
授業計画					
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者
1	授業オリエンテーション 地域診断1 地域診断の概念と地域診断の過程①	講義	地域看護Ⅰ、Ⅱ、疫学Ⅰ、保健統計学の授業資料、ノートを整理して持参する（予習）	120分	金森 田邊 乗越
2	地域診断2 地域診断の概念と地域診断の過程②	講義	テキスト①の「第1章 地域診断 (p.2～37)」を読んで授業に参加し（予習）、授業中に指定する課題を実施する（復習）	60分	金森 田邊 乗越
3	地域診断3 情報収集①	演習	テキスト①の「第1章 地域診断 (p.37～65)」を読んで授業に参加し（予習）、授業中に指定する課題を実施する（復習）	60分	金森 田邊 乗越
4	地域診断4 情報収集②	演習	対象地域の既存資料を収集して授業に参加し（予習）、住民インタビューの準備を行う	60分	金森 田邊 乗越
5	地域診断5 情報収集③	演習	地区踏査を行って地域特性を把握するとともに健康測定会実施に向けた準備を行う（予習）	60分	金森 田邊 乗越
6	地域診断6 情報収集④	演習	自らが準備したインタビュー内容について深く理解して臨み（予習）、インタビューや地区踏査で収集した情報を整理する（復習）	60分	金森 田邊 乗越
7	地域診断7 情報収集⑤	演習	自らが準備したインタビュー内容について深く理解して臨み（予習）、インタビューや地区踏査で収集した情報を整理する（復習）	60分	金森 田邊 乗越
8	地域診断8 情報収集⑥	演習	健康測定会で自らが果たす役割を認識し、測定技術及び内容の予習を行い、測定結果を評価する（復習）	60分	金森 田邊 乗越
9	地域診断9 情報収集⑦	演習	健康測定会で自らが果たす役割を認識し、測定技術及び内容の予習を行い、測定結果を評価する（復習）	60分	金森 田邊 乗越

10	地域診断 10 情報の分析及び統合と診断①	演習	既存の資料やインタビュー、健康測定会で得た情報を整理して授業に臨み（予習）、授業中に指定する課題を実施する（復習）	60分	金森田邊乗越
11	地域診断 11 情報の分析及び統合と診断②	演習	地域診断するために必要な手法や知識を復習して授業に臨み（予習）、授業中に指定する課題を実施する（復習）	60分	金森田邊乗越
12	地域診断 12 情報の分析及び統合と診断③	演習	地域診断するために必要な手法や知識を復習して授業に臨み（予習）、健康課題を抽出する（復習）	60分	金森田邊乗越
13	地域診断 13 情報の分析及び統合と診断④	演習	地域診断の結果をパワーポイントにまとめ、プレゼンテーションの準備をする（予習）	60分	金森田邊乗越
14	地域診断 14 診断結果のプレゼンテーション①	演習	プレゼンテーションの練習をして授業に臨み（予習）、フィードバックされた内容を修正する（復習）	60分	金森田邊乗越
15	地域診断 15 診断結果のプレゼンテーション② まとめ 課題のフィードバック	講義 演習	プレゼンテーションの練習をして授業に臨み（予習）、フィードバックされた内容を修正する（復習）	60分	金森田邊乗越
先行履修科目	地域看護 I， 地域看護 II				
テキスト	①平野かよ子編：最新保健学講座 5 公衆衛生看護管理論，メヂカルフレンド社，2015。 ②厚生統計協会編：厚生指針増刊 国民衛生の動向 2018/2019。厚生統計協会出版，2018。				
参考文献	金川克子編：最新保健学講座 1 公衆衛生看護学概論，メヂカルフレンド社，2015。 佐伯和子責任編：公衆衛生看護学テキスト 2 公衆衛生看護技術，医歯薬出版，2014。 エリザベス T アンダーソン，ジュディス・マクファーレイン編，金川克子，早川和生監訳：コミュニティアズパートナー第 2 版，医学書院，2007。 佐伯和子編：地域看護アセスメントガイド，医歯薬出版，2007。 金川克子編：地域看護診断 第 2 版，東京大学出版会，2011。				
科目の位置づけ	既修のモデルを用い、演習地域について自ら積極的に地域アセスメントを行い地域特性、健康課題を把握する方法を学んでいく。地域の保健計画及び保健事業の根拠を導くための保健活動を理解するより実践的な科目である。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
		○		◎	
評価方法	ルーブリック評価（100%）				